

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年8月15日
【会社名】	テックファームホールディングス株式会社
【英訳名】	Techfirm Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO 永守 秀章
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
【電話番号】	03 - 5365 - 7888 (代表)
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 松本 圭太
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
【電話番号】	03 - 5365 - 7888 (代表)
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 松本 圭太
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2022年8月12日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社のICTソリューション事業において受注しております大型の開発案件で、開発スケジュールに遅延が発生（以下、本遅延という）することが明らかになったことから、今後の開発コストを見積もった結果、受注損失引当金繰入額として72百万円を第3四半期連結会計期間に計上しておりました。

しかしながら、当連結会計年度末時点においても本遅延が継続していることから、110百万円を追加計上することといたしました。（本引当金累計額は183百万円となります。）

当社はコロナ禍で先端技術案件が一時的に減少している間、さらなる成長ステージへとシフトするため大型案件の受注獲得を進めてまいりました。その中で当該案件はこれまでになく規模が大きいものであり、その規模に合わせた開発要員の増強、プロジェクト管理の見直し等、オペレーション体制構築に向けた投資を進めておりました。しかしながら、その後も想定以上に開発上の不具合やその改修作業が発生したこと、また、仕様の再調整などに時間を要していることから、改めて開発スケジュールの見直し、開発要員の増員等、今後の開発コストを精査した結果、受注損失引当金繰入額を追加計上することといたしました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年6月期の連結決算において、受注損失引当金繰入額183百万円を売上原価として計上いたしました。

以上